

シャトー・ル・ルー

Chateau le Loup

生産者名 サンテミリオン生産者組合
生産者名 (英) Union de Producteurs Saint-Emilion

エレガントで重厚なスタイルのワインを造るシャトー

シャトー・ル・ルーは、サンテミリオンの北の斜面、モンターニュとの境に位置。サンテミリオン協同組合に所属しています。50%メルローと50%カベルネ・ソーヴィニヨンの独自のブレンドからなるスタイルは、メドックタイプのワインを連想させます。

サンテミリオン協同組合は1931年に設立のジロンド初の生産者組合。現在、約60のシャトーが所属し、それぞれのシャトーがサンテミリオンの特長を生かしたより良いワインを生産出来るよう、設備投資や環境整備を行っています。組合では5,000個の樽、140ものステンレスタンクを配備した大規模かつ最新の設備、800万本ものワインを保管出来る温度管理されたセラーも兼ね備えた施設を所有。60のシャトーから大量に運ばれてくる葡萄をこの設備でスピーディーかつ最適なタイミングで醸造し、安定した品質のコストパフォーマンスに優れたワインを生み出しています。



施設は徹底して自動化が進められており、ボトリングラインは1名、5,000個の樽は7~8名のみでコントロールが可能です。選果を高速で自動で行う機械や、樽に自動でワインを詰める機械も所有しています。葡萄にストレスがかからないよう、収穫した葡萄は地下にあるステンレスタンクへ重力を利用して注ぎ込み、そのタンクごとクレーンで地上まで引き上げています。組合ではこうした最新設備と創設80年の伝統の融合により、日々、サンテミリオンのワイン品質向上に努めています。

